

# 投稿方法のご案内

\*

## 日本保健科学学会誌 web 投稿システム

### 投稿者マニュアル Ver1-1

2022 年 7 月 22 日版

\* はじめにお読み下さい

#### 【 投稿手順の概要 】

最初に、 I . 投稿用の電子ファイル(2種類)を準備(本誌 p2)  
次に、 II . Web の論文投稿システムへのユーザー登録と投稿(本誌 p3～)

### 目次 ( 投稿手順 )

#### I . 投稿用電子ファイルの準備……………(p2)

【査読用電子ファイル】

【投稿関連電子ファイル】

巻末に電子ファイルの作成例があります

#### II . 論文査読システムへのユーザー登録と投稿……………(p3～)

1. ユーザー登録
2. ログインおよび論文アップロード
3. 査読結果のお知らせ

#### III . 各種様式

「投稿承諾書」の様式……………(p7)

「COI 自己申告書」の様式……………(p8)

## I. 投稿用電子ファイルの準備

電子ファイルは **Microsoft Word** または **pdf** でご用意下さい。

### 【査読用電子ファイル】(学会 HP より専用フォームを Download)

- 投稿する電子ファイル(A4 版横書き 40 行×40 字 1 ページ 1,600 字)は1つです。以下の順に並べて A~D)をまとめた1つのファイルとして下さい。右下にページ番号を付けてください。

#### A) 表紙ページ

- ① 題名 (和文および英文の両方)
- ② キーワード (5 語以内)
- ③ 希望する原稿のカテゴリー: 以下より選択  
[原著 研究報告 実践報告 学会抄録 その他]
- ④ 新規/再投稿の区別: 以下より選択  
[新規投稿 再査読1回目 再査読2回目 再査読3回目……]
- ⑤ 該当する分野  
[看護学 理学療法学 作業療法学 放射線科学 その他の領域]
- ⑥ 前回投稿時の Paper ID (再投稿や再々投稿の場合のみ)
- ⑦ 別刷必要部数

#### B) 査読者への応答文(再投稿の場合のみ)

#### C) 論文原稿

- ・要旨, 序論, 方法, 結果, 考察, 結論, 引用文献など投稿規定・要領に沿って作成して下さい。
- ・原稿には, ページ番号と行番号を付記してください。

#### D) 添付する図表

- ・図表は一点ずつ別ページとし, 各ページに図表の標題(図 1 ○○○)を記載
- ・必要に応じて説明文も記載

- **[重要]**このファイルは査読者にそのまま配信されます。投稿者が特定されるような情報(著者名や所属など)を記載しないよう, 十分にご注意ください。

**要注意!**

### 【投稿関連電子ファイル】(学会 HP より専用フォームを Download)

- 以下の①~⑤の書類を用意し, 1つの電子ファイルにしてください。加えて, ③④⑤は学会事務局に書面で郵送してください。

- ① 連絡先(著者校正原稿, 別刷り等の送付先): 住所, 氏名, 電話, e-mail
- ② 査読候補者等の希望リスト
- ③ 投稿承諾書(学会 HP よりダウンロード, または本誌 p7)
- ④ COI 自己申告書(学会 HP よりダウンロード, または本誌 p8)
- ⑤ ネイティブチェックの証明書(英文で投稿する場合)

## II. 論文査読システムへのユーザー登録と投稿

### 1. ユーザー登録

(ア) 以下の RUL より「ユーザー登録」画面へ

<https://science-cloud.world/jahs/form.html>

(イ) メールアドレスを入力

学会誌論文投稿システム / JAHs 日本保健科学学会

ユーザー登録  
メールアドレスを入力してください。  
メールアドレス  
登録メールを送信  
© Japan Academy of Health Sciences

(ウ) ユーザーログイン情報がメール送信されます。

\*このメールには以下の3点の情報が書かれています。

次回以降も使用しますので、大切に保存して下さい。

- ・[マイページ URL]
- ・1回目(ベーシック認証)の ID と PW
- ・2回目(ログイン画面)の 〃

(エ) メール URL よりログイン画面に移動します

### 2. ログインおよび論文アップロード

(ア) ログイン画面より、メールに記載された ID と PW でマイページにログイン

●1回目(ベーシック認証)の ID と PW

ログイン  
https://science-cloud.world  
ユーザー名 jahs  
パスワード .....  
ログイン キャンセル

●2回目(ログイン画面)の ID と PW

学会誌論文投稿システム / JAHs 日本保健科学学会

投稿者用サインイン  
メールアドレスに記載のIDとパスワード  
を入力してください。  
ID  
パスワード  
サインイン  
ユーザー登録がお済みでない方はこちら  
© Japan Academy of Health Sciences

(イ) 初回ログイン時は、画面上部の「登録情報更新」をクリックしてユーザー情報を入力

(ウ) 画面上部の「論文アップロード」をクリック

(エ) 必要事項を入力してください。

・カテゴリー:[原著 研究報告 実践報告 学会抄録 その他]より選択

・新規・再投稿の区別:(新規投稿 再査読1回目 再査読2回目 などを入力)

・該当分野:[看護学 理学療法学 作業療法学 放射線科学 その他]より選択

・キーワード:原稿中のキーワード(5 つ以内)\*と一致させて下さい。

\*10 個まで入力可能ですが, 投稿規定により 5 個までとします

・著者の氏名:日本語・英語を併記。

・同一著者に対し複数の所属がある場合, 所属枠内に全てまとめて記載して下さい。

<b>著者1 必須</b>	
氏名	英語氏名
保健 太郎	Taro Hoken
所属	
1)荒川大学看護学科 Department of Nursing, Arakawa University	2)荒川中央病院 Arakawa Central Hospital

(オ) アップロードする査読用電子ファイルを選択

(カ) アップロードする投稿関連電子ファイルを選択

(キ) 確認ボタンを押して内容を確認の上, **アップロード** ボタンを押してください。

査読用電子ファイル  査読用電子ファイル(小林法一1).docx  
**必須**

投稿関連電子ファイル  投稿関連電子ファイル(小林法一1).docx  
**必須**

### 3. アップロード論文の確認

マイページより、アップロードした論文と、ステータスが確認できます。査読中の表示ができれば、投稿完了です。

## アップロード論文

Paper ID	ステータス	論文タイトル	
P0001	再投稿依頼	認知機能の低下した高齢者に対する色カルタを用いた集団活動の効果	— 回復期
P0002	査読中	認知機能の低下した高齢者に対する色カルタを用いた集団活動の効果	— 回復期
P0004	査読中	Ⅲ 認知機能の低下した高齢者に対する色カルタを用いた集団活動の効果	— 回復期

## ユーザー情報

※初回ログイン時は、ユーザー情報を「登録情報更新」から入力し、登録してください。

User ID	U0001
氏名	小林 法一
メールアドレス	n.koba@toy.ac.jp

### 4. 査読結果のお知らせ

- (ア) 査読が終わると、お知らせメールが届きます
- (イ) メールの指示に従い、マイページにログイン
- (ウ) マイページより論文のタイトルをクリックすると、結果が表示されます

#### ◆審査結果

##### 1. 掲載可の場合

自動的に印刷所へ入稿となります。

投稿資格やその他書類に不備があった場合は学会事務局より問合せが届きます。

##### 2. 修正後掲載可

査読は終了です。審査コメントの指示に従って下さい。

##### 3. 修正後再査読

修正の上、再投稿をお願いします。

投稿方法は新規投稿と同じです。

必ず再投稿である旨の記載を表紙にお書きください。記入漏れがあると新規投稿の扱いとみなされる場合があります。

4. 掲載不可

新規投稿または他の雑誌をご検討下さい。

5. 審査不能

投稿規定や投稿情報の登録に不備がある可能性があります。審査コメントをご参照ください。投稿規定および本マニュアルもご確認下さい。

## Q&A

Q: 査読完了のメールが届きました。メールに記載された[マイページ URL]をクリックし、IDとPWを入力したが、ログインできません。

A: ログインは、基本的に2段階となっています。上記のID,PWは2段階目(個人認証)のもので、

1段階目(ベーシック認証)のID, PWはユーザー登録時にあなたにメールで通知しています。

ID: jahs            PW: f7ThdXhitBmP

# 投稿承諾書

下記の投稿論文を『日本保健科学学会誌』に投稿致します。尚、本論文は他誌に掲載済み、或いは掲載予定のものではありません。また、『日本保健科学学会誌』に掲載後 の本論文の著作権は、日本保健科学学会に帰属することを承諾致します。

筆頭著者：〈 所 属 〉

氏 名（ 署名・捺印 ）

\_\_\_\_\_ 印  
( 会員番号 )

論文題目：

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

上記論文を投稿するにあたり、共著者として、筆頭者同様にその内容について責任を有するとともに、本論文が他誌に掲載済み、或いは掲載予定のものではないことを確認します。また、『日本保健科学学会誌』に掲載後の著作権が日本保健科学学会に帰属する事を承諾します。

共著者：〈 所 属 〉

氏 名（ 自 署 ）

\_\_\_\_\_ 印  
\_\_\_\_\_ 印  
\_\_\_\_\_ 印  
\_\_\_\_\_ 印  
\_\_\_\_\_ 印  
\_\_\_\_\_ 印  
\_\_\_\_\_ 印

( 会員番号は学会から送付された封筒の宛名ラベル右下で確認できます )

年 月 日 提出

## 日本保健科学学会誌 投稿時 COI 自己申告書

著者名: \_\_\_\_\_

論文題名: \_\_\_\_\_

(著者全員について、投稿時点の前の年から過去3年間および出版受理時点までの期間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI 状態を著者ごとに自己申告記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名・企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②株式の利益 1つの企業から年間100円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から、医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に使途を決定しうる研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑦奨学(奨励)寄附金などの総額 1つの企業・団体から、奨学寄附金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に対して、申告者が実質的に使途を決定しうる研究契約金で実際割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑧企業などが提供する寄附講座 実質的に使途を決定し得る寄附金で実際割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

(本COI申告書は論文掲載後3年間保管されます)

(申告日) 20 年 月 日

記名(自署)



1 [ これは【査読用電子ファイル】の作成見本です ]

2 A)表紙ページ

3

4 ①題名（日英の両方を記載）

5 認知機能の低下した高齢者に対する色カルタを用いた集団活動の効果

6 ー 回復期リハビリテーション病棟での取り組み ー

7 Effectiveness of group activity in the elderly persons with declined cognitive

8 function in convalescent rehabilitation ward

9

10 ②キーワード（5 語以内）

11 回復期リハビリテーション，認知症，集団活動，コミュニケーション，認知症ケア

12

13 ③希望する原稿のカテゴリー：以下より選択

14 [原著 研究報告 実践報告 学会抄録 その他]

15

16 ④新規／再投稿の区別：以下より選択

17 [新規投稿 再査読1回目 再査読2回目 再査読3回目……]

18

19

20 ⑥前回投稿時の Paper ID（再投稿や再々投稿の場合のみです。新規投稿は不要です）

21

22

23 ⑦別刷必要部数

24 別刷：30 部希望

25

26

27

28

29

30

31

32

このファイルには、査読者に転送されます。  
氏名や所属等を記載しないで下さい！

1 B) 査読者への応答文 (再投稿の場合のみ, 意見や修正箇所の説明などを記載)

2

3

4

5

6

7

8

9

1 C)原稿本文

2 要旨

3 回復期リハビリテーション病棟入院中の認知機能の低下した高齢者を対象に、色カルタを  
4 用いた集団活動を実施し、その効,,, (400字以内)

5

6 キーワード:(5語以内)

7

8

9 I はじめに

10 わが国の人口構造の高齢化に伴い、回復期リハビリ,,,,,,,

11

12

13 II 研究方法

14

15

16

17 文献

18

19

20 英語要旨(300語以内の Abstract)

21

22

23 Keywords (5語以内)

24

25

26

D) 添付する図表

- ・図表は一つずつ別ページとし、各ページに図表の標題（図1 ○○○）を記載
- ・必要に応じて説明文も記載

表1 病棟生活場面の効果指標

期待される効果 <sup>注1)</sup>	効果指標 <sup>注2)</sup>				
	MOHOST	ACIS	NPI-NH	FIM	MMSE
交流機会の向上	○ (コミュニケーション と交流技能)	○ (情報の交換)			
精神的・情緒的变化			○		
活動・参加レベルの改善	○ (作業の動機づけ) (作業パターン)			○	
認知機能の変化	○ (処理技能)				○
社会機能の向上	○ (コミュニケーション と交流技能)	○ (関係)			

注1) 期待される効果とは、色カルタ実施経験のある OTR に対する色カルタに期待する効果に関するインタビュー<sup>7)</sup> で挙げられた5項目である。

注2) MOHOST・ACIS (研究代表者が実施), NPI-NH (担当看護師が実施), FIM (担当看護師および OTR が実施), MMSE (担当 OTR が実施)。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8

表2 介入前の両群の効果指標の状況

	実施群 (n=14) 中央値 (四分位範囲)	非実施群 (n=14) 中央値 (四分位範囲)	p値
年齢	86.5 (82.5-89.8)	89.0 (84.3-91.0)	0.568
MMSE	18.0 (15.3-20.8)	18.5 (15.3-22.0)	0.635
MOHOST	53.5 (50.5-55.8)	57.5 (50.0-63.3)	0.541
ACIS	53.5 (47.3-59.0)	57.0 (54.3-60.8)	0.227
NPI-NH	7.5 (4.0-19.0)	6.0 (4.0-10.8)	0.667
NPI-NH (職業負担度)	3.0 (1.3-8.8)	1.0 (0.0-2.8)	0.114
FIM	69.5 (50.5-78.5)	58.5 (39.0-67.0)	0.246
FIM (運動項目)	44.5 (31.0-56.0)	30.0 (22.8-46.8)	0.946
FIM (認知項目)	21.5 (16.3-24.0)	20.0 (17.0-26.3)	0.401

9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16

\* : p&lt;0.05

[ これは【投稿関連電子ファイル】の作成例です ]

雑誌製本の際、このファイルの情報を参照します。正確にお書きください。

◆ 題名

認知機能の低下した高齢者に対する色カルタを用いた集団活動の効果

— 回復期リハビリテーション病棟での取り組み —

Effectiveness of group activity in the elderly persons with declined  
cognitive function in convalescent rehabilitation ward

◆ 投稿者名（代表者）

氏名：日本語（ 東京 太郎 ） 英語表記（ Taro Tokyo ）

所属：日本語（ 荒川大学健康学部）

英語表記（ Faculty of Health, Arakawa University ）

①連絡先（著者校正原稿，別刷り等の送付先）

住所：東京都足立区西新井3丁目1-2 荒川大学 健康学部

氏名：東京 太郎

電話：03-9999-8888

e-mail：fqfh@chslchl.ac.jp

◆ 共著者全員の氏名・所属（日本語と英語表記の両方）

共著者1 氏名（日本語・英語） 所属（日本語・英語）

共著者2 氏名（日本語・英語） 所属（日本語・英語）

共著者3 氏名（日本語・英語） 所属（日本語・英語）

## ②-1 査読候補者の希望（1名以上必須）

査読者候補を1名以上指名すること。該当者の①氏名，②所属，③e-mail アドレスを明記すること。なお，査読者の最終的な選定は編集委員会で行うため，必ずしも査読候補者が査読者に加わるとは限らない。

氏名 長谷川二郎 所属 南東京大学 健康増進学部 e-mail sffgwewr@gwgg.ac.jp

氏名 横側 毅 所属 西南大学 社会学部 e-mail sdhfl@dkl.gmail.com

氏名 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

## ②-2 査読候補者からの除外希望（任意）

投稿者の不利益が予想される場合，投稿者は該当者を指名して査読候補者から除外するよう希望することができる。指名する場合は，①投稿者に不利益が生じる理由，および該当者の②氏名，所属，e-mail アドレス等を明記した別紙（フォーマットは任意）を添付すること。なお，査読者の最終的な選定は編集委員会で行うため，該当者が査読者に加わる場合もある。

理由 同一の研究テーマに取り組む競争関係にあるため

氏名 西 三郎 所属 南西大学 e-mail sdf@nsu.ac.jp

理由 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

③投稿承諾書

(スマホで撮った写真を貼るなど、ここに貼り付けてください。  
い、原本は本学会事務局に郵送して下さい)

<b>投稿承諾書</b>	
<p>下記の投稿論文を『日本保健科学学会誌』に投稿致します。尚、本論文は他誌に掲載済み、或いは掲載予定のものではありません。また、『日本保健科学学会誌』に掲載後の本論文の著作権は、日本保健科学学会に帰属することを承諾致します。</p>	
筆頭著者：〈所属〉	〈氏名（署名・捺印）
_____	_____
	印
	(会員番号)
論文題目：	_____
	_____
	_____
<p>上記論文を投稿するにあたり、共著者として、筆頭者同様にその内容について責任を有するとともに、本論文が他誌に掲載済み、或いは掲載予定のものではないことを確認します。また、『日本保健科学学会誌』に掲載後の著作権が日本保健科学学会に帰属する事を承諾します。</p>	
共著者：〈会員番号・所属〉	〈氏名（自署）
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____



## ④COI 自己申告書

(スマホで撮った写真を貼るなど、ここに貼り付けてください。  
い. 原本は本学会事務局に郵送して下さい)

(著者全員について、投稿時点の前の年から過去3年間および出版受理時点までの期間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI 状態を著者ごとに自己申告記載)		
項目	該当の状況	有であれば、著者名・企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から、医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に使途を決定しうる研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑦奨学(奨励)寄附金などの総額 1つの企業・団体から、奨学寄附金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に対して、申告者が実質的に使途を決定しうる研究契約金で実際割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑧企業などが提供する寄附講座 実質的に使途を決定し得る寄附金で実際割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	
		(本COI申告書は論文掲載後3年間保管されます)
(申告日) 20 年 月 日		
記名(自署)		

## ④ネイティブチェックの証明書(英文投稿の際は必須)

(スマホで撮った写真を貼るなど、ここに貼り付けてください。  
い. 原本は本学会事務局に郵送して下さい)